奈良県養護教諭等の資質向上に関する指標

奈良県の目指す教育	基本理念	**本人のための教育** **一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ**	奈良県教育振興大綱
	施策体系のテーマ	こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ 働く意欲と働く力をはぐくむ 地域と協働して活躍する人を育てる 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	奈良の学び推進プラン

教員志望の高校生段階

～関わる～ コミュニケーション力【多様性理解（人間関係能力）】人とつながる

～見つめる～ 情熱・人間性【自尊感情（自己理解能力）】自分とつながる

～知る～ 教育観【学ぶ楽しさを教える楽しさへ（専門的知識）】学びとつながる

教員養成段階	スタート時	分野	項目	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
	教育に対する情熱をもち、常に児童生徒から学び、共に成長しようとしている 常識や礼儀作法を身に付け、高い規範意識をもち、自己の人間性を高めようとしている	教員等としての素養	人間力	豊かな人間性や社会性、教養等を有し、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている 法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観や豊かな人権感覚を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている			
			情熱	愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている 教員等としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている 児童生徒の学ぶ意欲や自己肯定感等を高めるため、教員等として常に学び続ける向上心を有している			
	学校保健安全法等から、求められている養護教諭の役割を理解している 保健室を訪れる児童生徒に対応するための基本的な知識・技能を身に付けている 奈良県教育振興大綱、奈良の学び推進プラン、奈良県の教育課題等を理解している 保健教育においてICTを活用した保健指導ができる	専門領域における指導力	保健管理	・児童生徒の心身の健康状態の把握に努め、対応することができる	・児童生徒の心身の疾病や異常を早期に発見し、適切に対応することができる	・児童生徒の健康課題の解決に向けて支援方法を立案し、組織的に対応することができる	・専門性を生かし、校内や地域の関係機関と連携しながら学校保健に係る学校運営に参画できる
				・学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防に関する保健管理ができる ・アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解し、適切に対応できる		・現代的な健康課題に対応できるよう校内研修を企画するなど、保健管理に関して指導的な立場を果たすことができる	・常に新しい知識や技能を習得し、学校内外で指導的立場を果たすことができる
			保健教育	・養護教諭の専門性を理解し、学習指導要領を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じて指導することができる	・学級担任や教科担任等と連携し、専門性を生かした保健教育の実践ができる	・児童生徒の実態を把握し、より主体的な保健教育を実践するとともに、適切な評価と改善を行うことができる	・児童生徒や地域の健康課題を踏まえ、地域の専門家や関係機関と連携した指導を行い、他の教職員に指導・助言ができる
			健康相談	・児童生徒の発達に伴う疾病を理解し、健康相談に関する基礎的知識をもって対応することができる	・健康相談のプロセスを理解し、児童生徒の健康課題について、他の教員やSC・SSW等の専門スタッフと連携し、早期に対応することができる	・児童生徒の健康課題について、保護者や専門家と連携し、適切な対応ができる（コーディネーター的役割）	・児童生徒の健康課題に関する校内支援体制の推進のため、校内相談体制の指導と確立に積極的に取り組むことができる
			研究	・研修及び研究の意義を理解し、意欲的に取り組むことができる	・児童生徒の健康課題解決のために、情報を収集・分析し、実践や研究に積極的に取り組むことができる	・実践的研究による成果を蓄積し、共通の立場における共有財産として広く役立てることができる	・実践的研究活動を推進し、養護教諭としての専門性を高め、人材育成に役立てることができる
			情報活用	・児童生徒の健康診断結果や保健室来室状況などのデータ管理において、自身がICTを活用する技能を身に付け、的確に分析することができる ・学校感染症サーベイランス等の情報を収集し、ICTを活用して保健だよりを作成し、指導を行うなど、感染症予防に活かすことができる	・ICTを活用するための知識・技能を身に付け、より効果的にICTを活用した保健教育を行うことができる	・ICTを効果的に活用し、児童生徒の健康診断結果や保健室来室状況などのデータを分析することで、児童生徒の健康課題を把握し、他の教職員と協働して健康課題の解決に向けた実践に取り組むことができる	・ICTを効果的に活用し、健康状態だけでなく、学力・体力・生活状況調査等のデータ情報から児童生徒を多面的に理解し、他の教職員に健康課題に関する指導・助言ができる
	基礎的な知識と技能を基に生徒指導に取り組むことができる 生徒指導の意義や命を守る指導の重要性を理解し、児童生徒一人一人と向き合うことができる 児童生徒に対して公平かつ共感的な態度で接することができる 学習指導要領、基本的な法規を理解している 周囲の状況を判断して、自ら児童生徒に声をかけることの重要性を理解している 児童生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解している	生徒指導力	実態把握	・保健室における対応時や休憩時間等のあらゆる場面において、児童生徒一人一人と積極的に向き合うことができる ・児童生徒の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状の理解ができる	・日々の健康観察を基に、児童生徒の行動の変化を細部まで見逃さず捉えることができる ・児童生徒一人一人の生活背景を踏まえた実態の把握ができる	・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を担任等と連携して確認できる ・教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有できる	・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いが適切にできる ・具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等の指導・助言ができる
			指導	・問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、他の教職員と協力しながら事象への対応ができる ・児童生徒のよさを褒めて認めることで、自己肯定感を高めながら寄り添う指導ができる	問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、事象への多様な対応のために教育相談に関わることができる ・児童生徒を肯定的に捉えることで、保護者に安心感を与えつつ、指導を進めることができる	・問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象への対応ができる ・具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言ができる	・自校の生徒指導の方針に基づいた体制づくりに率先して取り組むことができる ・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言ができる
			特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援	・家庭環境を踏まえて、児童生徒の困り感やつまずき等の実態の把握ができる ・個別の教育支援計画及び指導計画の作成に参画し、指導・支援ができる	・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに対応した個別の教育支援計画及び指導計画の作成に参画できる ・個別の教育支援計画及び指導計画に基づいた適切な指導・支援ができる	・他の教職員とともに自校における個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用を推進できる ・専門的な視点に基づいた指導や支援のモデルを示すとともに、他の教職員に助言ができる	・特別支援教育に関する校内組織において、自校の組織的な取組の推進ができる ・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、他の教職員の取組について指導・助言ができる
			関係機関等との連携	・必要に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談ができる		・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言ができる	
	基礎的な知識と技能を基に保健室経営ができる 組織の一員として果たすべき役割を自覚し、協働して様々な事案に対応することができる 学校教育目標や学校保健計画に基づいた保健室経営を行うための基礎的事項を理解している 組織の一員としての自覚をもち、職務を協働して遂行することの重要性を理解している	マネジメント力	組織マネジメント（保健室経営） 保健組織活動	・保健室の利用しやすい環境づくりに努め、健康相談や救急処置等が行うことができる ・学校保健委員会や児童生徒保健委員会活動の意義と重要性を理解し、積極的に取り組むことができる	・児童生徒の実態に即した保健室経営計画を立案し、状況に応じた実践ができる ・保健主事と共に保健組織活動を積極的に推進し、児童生徒と教職員が主体的に参加する体制を整えることができる	・学校教育目標の実現に向け、組織運営に積極的に参加し、保健室経営を工夫・改善することができる ・健康課題を把握し、学校三師・関係機関・関係者との連携協力体制を構築・運営できる	・地域の関係機関と効果的に連携・調整し、学校保健活動のセンター的機能の充実を図ることができる ・保護者や地域との連携、協働した実施体制のもと、組織的な活動をマネジメントできる
			危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応できる ・未然防止のための身の回りの安全点検が確実にできる	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる ・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる	・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる ・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言ができる	・自校の危機管理体制を常に点検することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言ができる
			家庭・地域等との連携・協働	・家庭に対して、保健室の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭の協力のもと学校保健活動を効果的に進めることができる	・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる ・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した学校保健活動を推進することができる	・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した学校保健活動の計画・推進ができる ・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の健康課題を解決するための手法を他の教職員に助言ができる	・自校の健康課題の解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりができる ・家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、健康面から他の教職員に指導・助言ができる
			人材育成 職能成長	・組織の一員として、他の教職員と円滑に協働できる関係を築くことができる	・他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	・教職員間での相互理解に主体的に取り組み、支援者として他の教職員の資質向上に係る助言ができる	・人材育成やOJTに関する自校の課題解決に向けた取組を中心となって推進するとともに、支援者として他の教職員の資質向上に係る指導・助言ができる
				・勤務時間を意識しながら業務を効率的に遂行し、健全なワークライフバランスを保つことができる		・自らが率先してワークライフバランスを推進するとともに、他の教職員にも助言ができる	